

学術模型が拓く 研究の最前線

広島大学のチカラ Part 2



開催期間

2014年10月31日(金)
~11月15日(土)

10:00~17:00 (入場は16:30まで)
※ただし10月31日(金)は13:00~
※日・月休み。(11月2日(日)を除く)

開催場所

広島大学東広島キャンパス
学生プラザ1階

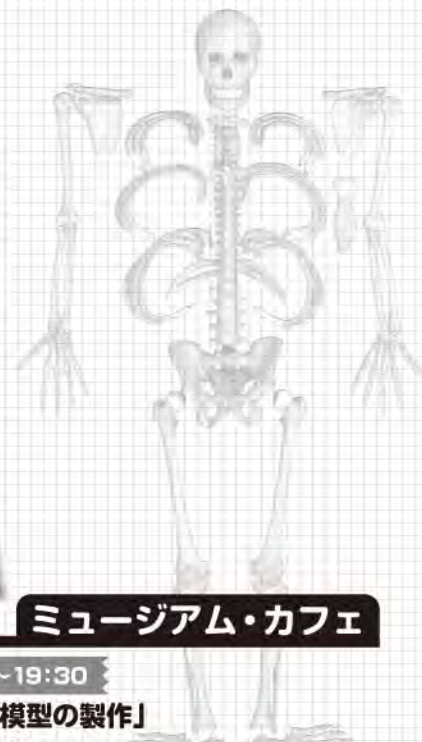
入場
無料

模型はプラモデルに代表されるように広く社会で親しまれていますが、「何か」を具現・再現・複製したものであるという点に共通性があります。

研究の世界においても、学術模型は研究を進め、またその成果を表現する上で重要な役割を果たしています。生物学における剥製等に代表される博物学的な模型に留まらず、文系理系の別を越えて様々な分野で活用されています。例を挙げれば、医学分野における人体解剖模型、DNA 二重螺旋構造等の分子模型、宇宙科学分野におけるジオラマ、工学分野における流体模型・風洞模型、文化財学分野における建築復元模型・歴史資料のレプリカ、生物工学融合分野におけるバイオミメティクスなど、枚挙に暇がありません。

このように模型は学術研究において広く利用されてきましたが、近年は、3Dプリンターの普及により、新たな方法で模型を作製することが可能となってきています。模型がさらに研究に役立ち、これからも研究の世界を切り拓いていくことが期待されます。

今回の企画展では、本学の研究を「学術模型」を通して紹介します。



飲み物やお菓子を
をご用意しています。
くつろいで楽しみください。

Event イベント

公開講演会

10月31日(金) 15:00~16:30

「出雲大社の研究最前線-宝治度本殿の復元-」



■三浦 正幸(広島大学文学研究科教授)
古代の出雲大社本殿はどのような姿をしていたのか。これまで様々な復元案が提示されています。今回は、絵画資料・発掘遺構などを用いて現在の本殿と同じ高さ(8丈=24m)の本殿復元案を提示します。
会場：教育学部 L205 (総合博物館本館の上階)

11月8日(土) 13:30~15:00

「星野木骨に近代医科学の曙をみる」



■片岡 勝子(広島大学名誉教授・元医学資料館長)
広島大学医学資料館所蔵の重要文化財「星野木骨」(1792 製作)は、実証主義、観察眼、技術力の総合的成果です。明治以降の急速な科学技術の進歩の素地があったことが、木骨の研究からみえてきます。
会場：文学部リテラ (B204)

11月11日(火) 18:00~19:30

「解剖学教育に有用な医学模型の製作」



■里田 隆博(広島大学医歯薬保健学研究院教授)
解剖学教育はどんなにIT技術が進歩しても、教えるににくい構造と機能があります。その補助として、医学模型は非常に有用です。その必要性から作製した顎関節機能模型、耳小骨機能模型と嚙下機能模型を紹介します。
会場：企画展会場 (学生プラザ1F)

11月15日(土) 13:30~15:00

「信長に挑む-安土城天主の復元-」



■佐藤 大規(広島大学総合博物館学芸職員)
織田信長が築いた安土城天主。完成から僅か3年で焼失したため謎の多い天守です。今回は、安土城天主の特異な形や、後の天守に与えた影響などについて、天守の見方を交えつつお話しします。
会場：企画展会場 (学生プラザ1F)

申込み不要・入場無料

展示構成

- ①学術模型と研究
- ②多様な模型の世界
- ③模型の役割
 - ・建築 - 再現する
 - ・内燃機関 - 可視化する
 - ・医学 - 具現する
- ④学術模型が拓く研究の世界

展示の目玉

- ・星野木骨(重要文化財)レプリカ
- ・安土城天主復元模型
- ・様々な天守の復元模型
- ・出雲大社本殿復元模型
- ・医学機能模型
- ・工学内燃機関関係模型
- ・3Dプリンタ

交通アクセス

- ◎公共交通機関でお越しの場合
●企画展会場/JR西条駅前から「広島大学」行バス乗車(所要時間15分)、「広大西口」下車徒歩5分
※お乗りも同じバス停から乗車して下さい(バスはキャンパスを反時計回りに周回して西条駅へ戻ります)。
- ◎車でお越しの場合
①番ゲートよりお入り下さい(他のゲートは入構カード専用です)。
※総合博物館へは教育学部周辺の駐車場が便利です。企画展会場へは総合科学部周辺の駐車場が便利です。
※お乗りはどのゲートからも出られます。

お問い合わせ

広島大学総合博物館 Hiroshima University Museum
〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 Tel.082-424-4212 (広島市内からは市外局番が必要)
URL <http://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/>
E-mail museum@hiroshima-u.ac.jp

Hirog
Designed by T. Kinyama

